

体育科 第4学年

歩数を見つけて もっと遠くへ ～走・跳の運動(幅跳び)～

学習指導者 ^{あき}安岐 ^{みさこ}美佐子

3～7歩の短い助走で幅跳びの記録会を行う中で、踏切りの強さや角度、助走のリズムなどの遠くに跳ぶための手がかりを見いだしていきました。本時では、その手がかりを基に、自己ベストを目指し、自分の課題に応じた練習を選択していきました。

トライアンドトライタイムでは、チームの友達と跳躍を見合って考えを伝え合う中で、自己の課題に応じた練習の場を工夫しながら試していきました。そして、自分に合った歩数で、より遠くに跳べる助走を見つけていきました。活動後のチーム力会議では、自分の頑張りを振り返ると共に、友達の頑張りについて共有しました。そうすることで、記録や勝敗の結果だけでなく、仲間と共に記録の向上に向けて高め合うよさを感じる姿が見られました。



タンタタンのリズムで助走が
できているか見ててね。

考察

○教師が、助走の歩数を選んだ理由を問うことで、子供たちが学習課題の「自分に合った歩数」について理解し、目的意識をもって学習に取り組もうとする姿が見られた。

●試行錯誤しながら課題解決に取り組む姿勢が記録の伸びにつながっていることを具体的な場面を示しながら価値けることで、粘り強さを発揮したことのよさがより強く感じられるようになったのではないか。